

広がる・つながる 地域のネットワーク

～「平生町地域協育ネット」の取組～

【平生町 平生中学校区】

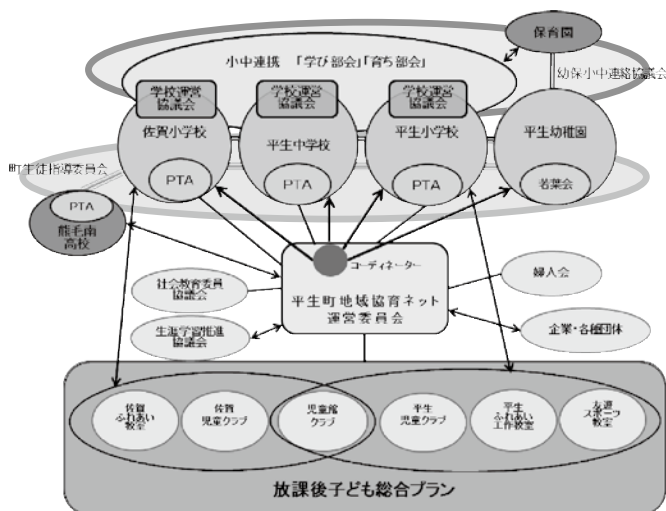
地域の概要

平生町は町全体で1中学校区となっており、地域のまとまりが強いところです。地域や各団体による様々なボランティア活動も盛んで、「地域協育ネット」の体制づくりが始まる前から学校・家庭・地域の連携による学習や活動、学校支援が各地区や団体、公民館、PTAなどで行われていました。

人 口	12,544 人	
世 帯 数	5,640 世帯	
対象校及び 児童生徒数	平生中学校	313 人
	平生小学校	492 人
	佐賀小学校	62 人
	平生幼稚園	67 人

組織の内容

平生町では平成23年度から、放課後子ども教室、学校支援助地域本部、放課後児童クラブの運営委員会を一体的に運用する「平生町地域協育ネット運営委員会」を発足させ、活動を推進してきました。学校・家庭・地域の代表者を委員に、連携して子どもを見守り育てる取組を協議し推進しています。運営委員会の取組としては、教育支援活動の計画作成、PTA行事や参観日における事業紹介、学校支援ボランティア活動及び放課後子ども教室活動に関わる研修会の企画・運営、広報紙発行による広報活動等があります。



平生町地域協育ネット運営委員会		
委員 構 成	学校関係者	3 人
	PTA関係者	3 人
	社会教育委員	1 人
	社会教育団体関係者	1 人
	統括コーディネーター	1 人
	放課後子ども教室教育活動推進員	4 人
事務局	放課後児童クラブ指導員	2 人
	町教育委員会社会教育課社会教育班 町健康福祉課子ども班	

特色・重点的な取組

- 学校や町の文化行事の時に、学校支援ボランティア活動・放課後子ども教室における「地域協育ネット」の活動内容を、掲示物等を活用して広く町民に周知しました。保護者や地域の方を対象として、学校の参観日に「地域協育ネット」の広報活動を行い、また、通信紙「クロッカス」を年間3回発行して、活動の理解が得られるよう努力しました。
- 学校支援活動では、学習支援活動、環境整備活動、見守り活動の大きく三つに分け、目的やねらいが明確になるように努力しました。地域の方がボランティアに入り、園児児童生徒と保護者、教職員との交流が深まりました。また、地域統括コーディネーターを中心に、学校・家庭・地域の連携による教育が進められました。
- キャリア教育への支援にも積極的に取り組みました。町内外の企業人や専門家、NPO活動家等を講師に迎え、様々な職業や生き方についての話を聞くことができました。
- 学校を中心に、保護者や児童生徒が主体的に地域に貢献する活動を行いました。

主な活動の紹介

今年度の取組例

- 佐賀小学校では、日頃お世話になっている地域の方々と全校児童との会食会「カレー・パーティー」を、5年前からランチルームにおいて行っています。今年は、「メッセージカード」の作成に取り組み、言葉を添えて感謝の気持ちを表すことができました。学校支援ボランティアの方々は喜ばれ、それを見た子どもたちもうれしそうでした。関係が深まり、より関わり合いが生まれることで、子どもたちの豊かな心は育まれていくものと考えています。
- 平生幼稚園でも、学校支援ボランティアの方々とふれあい会食会「カレーの日」が行われました。午前中、年少・年中の園児は、ボランティアの方々と工作や遊びを、年長の園児はジャガイモやニンジンなどを切るなど調理のお手伝いをしました。おいしいカレーをみんなで食べることができ、心も体も温まる体験をすることができました。
- 平生小学校では、15年前から、運動会にて「平生ヤッチャレ音頭 よさこいバージョン」の演技をしており、地域の踊りのグループの方々がゲストティチャーとして指導されます。みんなに見せられる演技になるように、何度も学校に来ていただき、練習に取り組みます。一度習うと、その中にスモールリーダーができ、徐々に自信をもって踊れる児童が増えていきます。当日は、踊りグループの方々と一緒に演技し、学校・地域の一体感を感じる発表になります。
- 平生中学校では、3年前から、地域のキクづくりグループの方々のボランティアを得て平生町の花「キク」づくりをしており、苗づくりから学習が始まります。キクづくりは手がかかりますが、ボランティアの方に毎日のように学校に来ていただき御指導を受けたおかげで、最後は、立派な花が咲き、学校の文化祭や町の文化行事で、披露することができました。来年は、生徒と教職員とで一から取り組んでみたいという意欲がわきました。
- 平生幼稚園と平生小学校の合同避難訓練が行われ、その時の交通安全を中心とした見守りの支援を地域の方々にお願いしました。園児・児童だけでなく、幼稚園、学校としても、大変有意義な訓練となりました。



メッセージカードを渡す



カレーの日



踊りを習う



キクづくり



幼・小合同避難訓練

成果と課題

今年度は、学校支援ボランティア活動、放課後子ども教室を通して、様々な機関との連携が深まりました。人との関わり合いの中で、相手の考えを知ろうとすることや、自分の考えをきちんと伝えることの大切さを学ぶことができました。また、生の演奏や仕事を見たり聞いたり体験したりすることもできました。一方で、子どもたちの、地域を愛する心を育み、まちづくりにつながる取組への参加意識を高めていくことが、これからの課題です。

今後の取組

多くの人とふれあうことで、子どもたちは自己肯定感や自己有用感を感じ、豊かな人間性が育れます。そして、その機会を確保するためには、学校・家庭・地域の信頼関係が深まることが重要です。これからも、学校・家庭・地域の信頼関係の大切さを周知し、活動を通してお互いの考えを理解してもらうための取組を行っていきたいと思います。